

政令指定都市中・主要渋滞箇所数ワースト1※(3大都市圏除く)

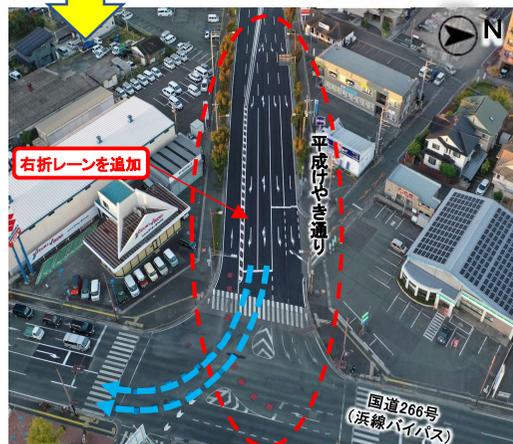
渋滞対策として幹線道路の整備等を進めているが、これらは完成までに時間を要するため、まずできる対策として県警・道路管理者で連携し、短期的に実施可能で早期の効果発現が見込める対策である『スマート交差点』を推進中。

【スマート交差点の内容】

- (1) 道路改良 (用地取得なし)
例：右折レーン・車線数の変更等
- (2) 信号時間の調整

事例① 田迎3丁目交差点

- ・主に平成けやき通りから浜線バイパスへ右折する車線で慢性的に渋滞が発生。
- ・道路空間を有効活用し、対向車線2車線のうち1車線を新たな右折レーンに変更。



平成けやき通りからの
右折車線の渋滞が緩和
(渋滞長110m ⇒ 10m)

約 **90%** 減

※渋滞長：信号が青から赤に変わった瞬間の最後尾車両までの距離

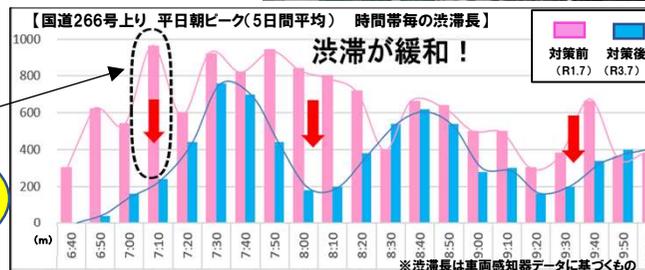
事例② 嘉島町上仲間交差点

- ・国道266号上り車線で慢性的に渋滞発生。
- ・R1年度、県で県道熊本嘉島線（堤防道路）に左折レーンを追加する道路改良を実施。
- ・R3年度、道路改良後の交通量調査を基に、周辺交差点への影響を含めた交通シミュレーションを実施し、県警・県・市で協議し、信号時間を調整。



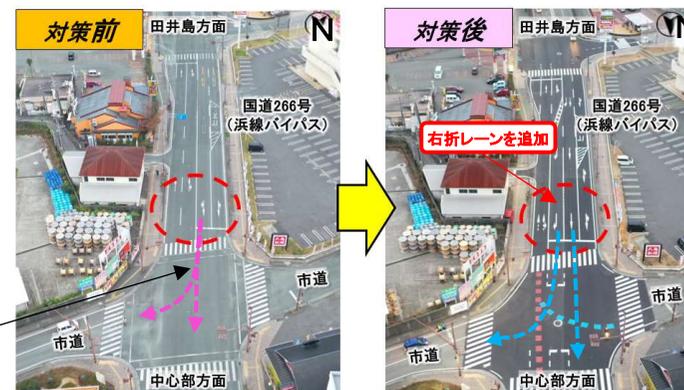
平日朝ピーク時間の渋滞が緩和

最大
約**700m**改善



事例③ 南熊本3丁目交差点

- ・国道266号上り車線で慢性的に渋滞発生。
- ・道路空間を有効活用し、対向車線2車線のうち1車線を右折レーンに変更。



右折レーンを設置

※ 効果検証は今後実施予定。